



令和5年度 浜松市立北浜北小学校 学校だより

# 北心だより

令和5年9月29日 N06.



合言葉「チャレンジ」

学校教育目標

心豊かでたくましく 夢に向かって  
輝き続ける北北っ子

先日は、参観会及び懇談会への御参加ありがとうございました。日頃より授業に一生懸命取り組む子供たちですが、いつもに増して張り切っていたように感じました。保護者の皆様からの温かい言葉かけが、子供たちの励みになっていることが伝わり、感謝申し上げます。

さて、いよいよ令和5年度も後半に差し掛かります。10月2・3日の林間学校をはじめ、修学旅行、持久走記録会、校外学習、体験活動、学習発表会。後半も、たくさんの学習活動が行われます。浜松市が掲げるキャリア教育とのつながりを意識し、自分なりの目標をもち、学びの充実が図られるよう取り組んでまいりたいと思います。頑張ったこと、成長を感じられたことをお子さんと共有し、励ましと応援をよろしくお願いいたします。

## 令和5年度全国学力学習状況調査の結果を受けて

4月18日、6年生を対象に行われた令和5年度全国学力学習状況調査の結果が発表されました。

### (1) 学力調査より

〔令和5年度全国学力調査正答率〕

	国語 (全国比)	算数 (全国比)
本校	73.0 % (+5.8%)	66.0 % (+3.5%)
県	67.0 %	62.0 %
全国	67.2 %	62.5 %

#### 【国語】

全体の正答率としては全国・県より高く、14問中11問で全国より上回っていました。

#### 〔結果の分析と改善点〕

○文の中で正しく漢字を使う問題や送り仮名を書く問題では、正答率が高く9割以上の児童ができていた。(全国比+20%)

○いくつかの資料を読み、それぞれに何が書かれているのかを選択する問題では、正答率が94.4%であった。(全国比+4.4%)

△「図表やグラフを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。」(記述式)(思・判・表)を問う問題では、正答率が26.2%。(全国比-1.5)

△「日常よく使われる敬語を理解している。」(選択式)は、本校の中では2番目に正答率が低かった。(54.2%)

国語の力としては、全体的に定着が図られていると考えられますが、「書くこと」に関しては、大きく下回りました。「資料を読み取り、聞かれていることに対して、的確にまとめて書く。」という出題でしたが、誤答の多くは、必要とされている内容が書かれていませんでした。

学習の中で、「自分の考えを自由に記述する」だけでなく「資料やデータから読み取って考えをまとめる」や「条件に合わせて、適切に文章にまとめる」というような表現力を身に付けていく必要を感じました。また、言葉を大切にし、何となく伝わるのではなく、足りない部分をきちんと最後まで言葉で話すようにすることも大切です。「日常よく使われる敬語を理解しているか」を問う問題、「言う」の尊敬語と謙譲語についても正答率が低くなっていました。言葉については、読む文章の中で覚えることもそうですが、生活の中で使い身近な言葉にしていくことが大切です。特に、敬語については、場や時に応じて使う、また、周囲の大人となる私たちが正しい言葉を話し、身近な言葉にできるとよいと思います。

### 【算数】

全体の正答率としては、全国・県とほぼ同等であり、16問中11問で全国より上回りました。傾向として、図形領域、記述式での正答率が50%以下となっていました。

#### 〔結果の分析と改善点〕

- 伴って変わる2つの量を短答式で答える問題では、9割以上の正答率であった。
- 本が棚に入るかという日常場面で、小数の加法を用いて、入るか入らないかを正しく選ぶことができた（全国比+11.1%）
- △ 「高さが等しい三角形について底辺と面積の関係を基に面積の大小について理由を記述する」（記述式）（思・判・表）では、15.9%（全国比-4.9%）
- △ 「正三角形の意味や性質を理解しているか、図を見て角度で答える」（短答式）（知・技）では、21.5%（全国比-3.4%）

三角形の面積の公式は理解できていますが、条件に合わせて説明するための理由が満たされていない誤答や、三角形の基本的な性質は理解しているものの、活用することができていない回答が多く見られました。無回答の児童は少ないことから取り組むことはできています。

授業の中では、基礎基本の定着だけでなく、応用問題に取り組んだり活用したりする問題を取り入れていきたいと思います。また、協働的な学びを多く取り入れて、友達とさまざまな角度から理解を深めたり、相手が納得できる説明をしたりする中で、確かな学力につなげていきたいと思います。

### (2) 質問紙より（本校の教育目標、教育活動に主に係るところを抜粋しています）

	※ 解答番号1（している、当てはまる）の割合。（だいたいしている）は入れていません	本校(%)	県(%)	全国(%)
1	朝食を毎日食べている。	90.7	85.3	83.7

2	自分にはよいところがある。	53.3	43.5	42.6
3	先生はあなたのよいところを認めてくれる。	57.0	51.8	49.9
4	先生は分かるまで教えてくれる。	72.0	63.3	60.9
5	将来の夢や目標を持っている。	73.8	61.0	60.8
6	人が困っているときは、進んで助ける。	36.4	43.3	45.6
7	人の役に立つ人間になりたい。	85.0	75.2	75.3
8	学校に行くのは楽しい。	49.5	51.4	49.8
9	自分と違う意見について考えるのは楽しい。	29.9	32.1	32.0
10	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。	55.1	50.2	49.9
11	家で自分で計画を立てて勉強をしている。	33.6	26.3	28.7
12	普段、授業時間以外で、1時間以上読書をする。	14.9	18.6	18.5
13	今住んでいる地域の行事に参加している。	37.4	26.4	24.3
14	学習した内容の分かった点や分からなかった点を次の学習に生かす。	23.4	27.6	31.0
15	授業で学んだことを、他の学習に生かす。	29.0	35.0	39.0
16	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動を行う。	23.4	29.3	31.8

#### 〔結果の分析と改善点〕

- ・ 基本的な生活習慣は、おおむね整っているとと言えます。
- ・ 「自分にはよいところがある」という回答が多くなっています。御家庭はもちろん、学校職員も児童を認める声掛けを行っていることも関係していると考えられます。また、「夢や希望がある」「人の役に立つ人間になりたい」「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」の数値も高くなっています。生活の中で、前向きかつ肯定的に物事を考えられていると捉えられます。一方で、「人が困っているときは、進んで助ける」という項目では数値が低く、助けたいと思っても、実践に結び付けられていない様子が見えます。
- ・ 学習に関わる項目では、「自分と違う意見について考える」「学習した内容を生かす」などが低くなっています。

以上の結果から、子供たちは、夢や希望をもち、人の役に立ちたいと考え、前向きに生活をしています。けれども、実際に、目の前で困ったことが起きたとき、また、難題に出会ったときに対応し行動することは難しいと感じているようです。日常の生活の中で、違う意見の人と話したり自分なりにどうしたらよいのか考えたりしながら、自分で課題を

解決していく姿勢と力を育てていきたいと思います。学校生活においても生活面、学習面共に、協働的な活動を取り入れ、一人ではなくみんなで取り組み、自分たちで課題を解決していく体験も積めるようにしていきたいと思います。周りの大人は、温かく見守り、失敗しても成功しても、その行為を認め励ましていくことが、「主体的に活動する子」の育成につながると考えられます。

子供たちのよりよい育ちのために、これからも家庭と学校が取り合っていけますよう保護者の皆様の御支援・御協力を今後ともよろしくお願いいたします。